

**要請番号 (JL32719B14)**

**募集終了**



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ペルー	G130 柔道	20~45 歳のみ	個別	交替 3代目	2年	・2020/1・2020/2・ 2020/3

### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名（日本語）

体育庁

#### 2) 配属機関名（日本語）

体育庁タクナ支部

#### 3) 任地（タクナ州タクナ市）JICA事務所の所在地（リマ市サンイシドロ区）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機+バスで約2.5時間）

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

体育庁は、1920年に設立され、2003年にペルー教育省の管轄下に配置された。現在、国家スポーツシステムの実施の中で、ペルー社会生活の改善に寄与するべく、競技スポーツやレクリエーションの促進や関係機関との調整、各イベントの実施を行うことを目的としている。2019年度予算は、6,300万ドルで、柔道連盟や野球連盟をはじめとする53競技の連盟とパラリンピック協会と、23州にリマ市を加えた、24地域支部を統括する。タクナ支部は、このうちの一つの地方支部で、これまでに2名の柔道選手を受け入れてきた。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

体育庁タクナ支部は、初代柔道選手として、2014年7月から2年間、さらに2代目として、2018年1月から2年間、青年海外協力隊員の指導を受けてきている。この成果もあって、男女1名ずつ、2名の選手がナショナルチームに召集された。また、タクナ支部で選手から柔道の指導を受けた選手は、技術のみならず、礼儀作法や整理整頓、日常的な躰まで習得されており、日本柔道の伝承のモデルができつつある。また、配属先となるタクナ支部では、さらなる強化選手の育成のためにも、青年海外協力隊員の指導は欠かせないとして、継続派遣の要請に至った。

#### 2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、選手の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. 体育庁タクナ支部道場での柔道指導を行う。
2. 小・中学校を巡回し、柔道の普及活動を行うと共に、初心者に対する基本指導を行う。
3. 現地コーチの技術レベル向上(段の取得)のための指導と助言を行う。

#### 3) 選手が使用する機材の機種名・型式、設備等

道場(約40畠)、各種トレーニングマシーン

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

活動対象者:20歳代、男性、2段、指導歴8年

1.育成選手:15歳~17歳、男女8名、初段程度、国内大会入賞レベル

2.初級・中級者:7歳~16歳、男女20名

#### 5) 活動使用言語

スペイン語

#### 6) 生活使用言語

スペイン語

#### 7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

## 【資格条件等】

[免許/資格等]：( )

[学歴]：( ) 備考：

[性別]：( ) 備考：

[経験]：(競技経験) 5年以上 備考：現地コーチへの指導のため

[参考情報]：

- ・柔道三段以上

## 任地での乗物利用の必要性

不要

## 【地域概況】

[気候]：(砂漠気候) 気温：(10~35°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(安定)

## 【特記事項】

公認指導者資格があるとなお良い。

## 【類似職種】